

青森県立郷土館

夏の 自然観察会

石垣が残る、戦国時代の城
国史跡三戸城跡

なぜここに 三戸城が築かれたのか

～石垣と地形・地質から読み解く、自然と歴史のつながり～

室町時代後期から江戸時代初頭まで三戸南部家の居城であったと伝えられている三戸城は、馬淵川と熊原川によって浸食形成された独立河岸段丘に造られています。現在は城山公園として町民に親しまれている国史跡三戸城跡で、公園内で見られる地層や植生の観察を通して自然環境について理解を深め、三戸南部家を中心に地域の歴史について学びます。

対象：一般
中学生以下は
保護者同伴

開催日 令和8年

7月5日(日)

10:00～14:30 (受付9:30～)

会場 三戸町 城山公園
(現地集合・解散)

定員 20名 (先着順)

参加料 無料

観察の見どころ

- 独立河岸段丘とは
- 石垣の石材 どこから
- 城山をつくる地質と植生



ご参加にあたって

天候やツキノワグマ出没状況に応じ、内容を屋内に変更、又は中止します。

申込 6/2(火)～6/25(木)

申込は下記の電話(平日9時～17時)・FAX・MAILのいずれかの方法で参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号・メールアドレスをお知らせください。

お問い合わせ・申込先
青森県立郷土館

〒030-0802 青森市本町二丁目8-14
TEL: 017-777-1585 FAX: 017-777-1588
MAIL: kyodokan-event@pref.aomori.lg.jp



<https://www.kyodokan.com>